

国語課題③

☆音読

森へ〔6年教科書83ページから91ページ〕

【めあて】

「森へ」を読み、読書が自分の考えを広げることに役立つことを知ろう。

『音読のポイント』

五感を働かせて、文章と写真から情景を想像して読もう。

・森へ P83～91

学習の流れ

- ① 場面〔1〕～〔5〕を分ける。〔1〕は、P83の1行目〔2〕は、P84の1行目〔3〕は、P85の13行目〔4〕は、P88の上段16行目〔5〕は、P90の下段2行目
- ② 各ページにQRコードを読み取る。QRコードを読み取ると写真が出てくる。(情景がイメージしやすくなります)
- ③ 毎日(5月2日～8日まで)音読をする。

学校が始まったら

「森へ」の内容を授業内で深めた後にテストをします。

☆本は友達

私と本〔6年教科書78ページから81ページ〕

【めあて】

ブックトークをして、自分と本との関わりについての考えを広げよう。

『学習のポイント』

・学習のポイントは、学習の流れの中の()に入っています。

学習の流れ

- ① 自分と本との関わりを考えよう。最初は教科書を見ないで、次のページのこうもくにあてはまることをノートに書く。
- ② 教科書P78・79を読み、学習内容や進め方を学びましょう。また、P79を読み、「自分もそうだった。」と思うところがあったら、ノートにつけ足す。
- ③ 自分が特に心に残っている本をノートに書く。P80を参考にして書いていきましょう。(今まで読んだ本だけでなく、1～6年生までの教科書の内容でもいいですよ。)

理由（具体的に書こう）	本の名前	◎特に心に残っている本	これから読みたい本	どんな本が好きか。	読むと、自分にどんな変化が起きるか。	どんなとき、本を読みたくなるか。	◎自分と本との関わりについて考えよう。	私と本	ノート例
-------------	------	-------------	-----------	-----------	--------------------	------------------	---------------------	-----	------

④ 家の人にも③の内容をインタビューして、本のみりよくを知り、ノートに書こう。（誰に聞いたのか・本のタイトルは・なぜその本にみりよくを感じたのかを聞こう。）

お母さん	本のタイトル	舟を編む	その本のみりよく	辞書を作り上げるための努力や苦勞が伝わる内容。 一つのことを極める必要性や専門性を自分もちたいと思ったから。	誰	ノート例
------	--------	------	----------	-----------------------------------------------------------	---	------

- ⑤ 本のテーマに着目して、読みを広げる。これから読んでみたいテーマを決めて本を探す。
- ㊦ P82の下段にある「たいせつ」を読み、特に重要なところは、サイドラインを引く。
 - ㊧ テーマを決める。P81、P265～269を参考に自分の読みたい本のテーマを決める。
 - ㊨ テーマが決まったら、それに合う本を探す。（本が探せない人は、『森へ』か『P270「いかにだ」』、『P276「平和のとりでを築く」』でもいいです。
 - ㊩ 本が決まったら読む。
- ⑥ ブックトークをするために、伝える内容や構成を考える。P82のブックトーク例を見本にして、ノートに書こう。（初め・中・終わりで構成を考えるのが基本ですよ。）

学校が始まったら

ブックトークをする内容を先生に提出します。先生が確認した後に、友達とブックトークをします。